

中期経営計画最終年度に向けて

じもとホールディングスは、本年10月に設立5周年となり節目の年を迎えます。宮城と山形の「人・情報・産業」をつなぎ、経済や人びとの交流の活性化を通じて魅力ある地域を創り上げることを使命とし、これまで各種施策に取り組んでまいりました。本年度は平成27年4月にスタートした中期経営計画の最終年度となります。

じもとグループの中期経営計画は、「本気の本業支援」と「本気の統合効果発揮」の2本柱です。「本気の本業支援」では、宮城と山形をつなぐビジネスマッチングの取り組みや、他機関との連携などによる態勢強化、人材育成・地方創生への取り組み強化を実施しており、今後もさらに、じもとグループの強みを生かした差別化戦略を推し進めてまいります。「本気の統合効果発揮」では、システム統一や業務場所・業務フローの統一が順調に進んでおり、グループの特徴を最大限に活かすべく、今後も経営の効率化・合理化を図ってまいります。

中期経営計画の最終年度として、本年度はこれまでの本業支援を更に進化・発展させるとともに、お客さまと価値感を共有して創造を続ける「持続可能なビジネスモデル」を確立し、お客さま・地域に喜んでいただけるよう、じもとグループが一丸となって取り組んでまいります。

皆様方におかれましては、今後とも、じもとグループに更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社じもとホールディングス会長
株式会社 仙台銀行 頭取

鈴木 隆

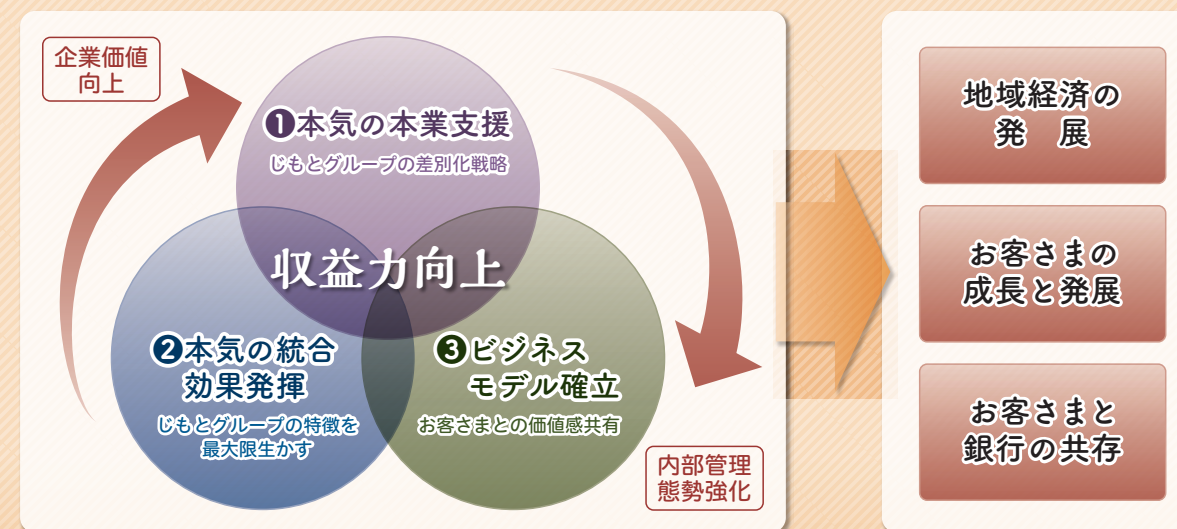
株式会社じもとホールディングス社長
株式会社 きらやか銀行 頭取

栗野 学

じもとグループの目指す姿

中期経営計画最終年度（平成29年度）の取り組み

本業支援を柱とし、お客さまと価値観を共有して創造を続ける
「持続可能なビジネスモデル」確立で成果を出す！



これまでの取り組み 中期経営計画

本気の本業支援

態勢強化

- 東京TYFGとの連携協定締結
- 産学官連携への取り組み

更なる特徴発揮

- 東北大学・山形大学との連携による経営者育成
- 両行事業性評価シートの統一・活用

宮城と山形をつなぐ

- 両県・両行をつなぐビジネスマッチングの取り組み
- 両行営業店組織会の交流実施

地方創生

- 「宮城×山形×栃木じもと いいもん交流フェスティバル」開催
- 地公体との連携イベント多数実施

本気の統合効果発揮

システム統一

- 勘定系システムを27年5月に統一
- サブシステムを30システム統一完了（29年3月現在）
（統合顧客管理、自己査定、証券管理、キャッシュカード発行等）

業務場所・業務フロー統一

- 両行人事制度を29年4月に統一
- きらやか銀行市場金融部が29年5月に仙台銀行本社へ移転
- 29年3月にきらやか銀行新事務センターが稼働、仙台銀行の一部業務を10月に移転集約化予定